

随意契約理由書

件名	神戸市高速鉄道西神・山手線6000形増備車製造	
契約の相手方	川崎重工業株式会社	
根拠法令	地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続きの特例を定める政令 第十一条一項の二号	
随意契約の理由	<p>本業務は、西神・山手線及び北神線に供する車両1編成を増備するものである。</p> <p>現在交通局では、西神・山手線の車両の耐用年数が経過したことなどから全28編成を一括更新することとし、平成27年度に上記請負人と契約を行い、令和4年度まで順次更新を続けている。</p> <p>全編成を一括更新し形式を統一した理由は、インシヤルコストを大幅に低減できることに加え、今後のメンテナンスの局面においても、法定検査にかかる費用の低減化、耐用寿命の中間に実施する大規模な機器更新(オーバーホール)における費用の低減化、予備品、保守部品の共通化によるコスト縮減、保守管理や事務の効率化等が図られ、メンテナンスコストを大幅に低減できるためである。</p> <p>現在、今後のメンテナンスに向けて、現状の検査工場を先行28編成の車両仕様やメンテナンス体制に特化した専用検査工場とするような大規模改修を行っており、来年度9月完成予定である。また法定点検するための設備の導入も進めておている。必要な予備品、保守部品については、大部分が購入済みである。</p> <p>こういったライフサイクルコストを低減化させる取り組みを進める中、令和2年6月から北神急行電鉄が運営していた北神線を市営化することとなり、1編成を増備する必要が生じた。</p> <p>この増備1編成の仕様が先行28編成と違った場合、すでに進めている検査工場、検査用設備、予備品等に対して二重に費用をかけることとなる。また、オーバーホール費用の増大、保守管理や事務の煩雑化につながる。従って、増備1編成は先行28編成と同じ構造や搭載機器、システム等とする必要があるが、複雑に構成されている車両には製造メーカー独自の技術やノウハウなどがあるため、これができるのは先行28編成の車両を設計、製造した「川崎重工業株式会社」のみである。</p>	
担当部署 (問合せ先)	高速鉄道部地下鉄車両課車両係	(電話番号 791-6582(内線3612))